はしがき

NIEという言葉をご存知でしょうか。NIEとは、Newspaper in Educationの略です。アルファベットの音通り　エヌ・アイ・イー　と読みます。教育機関（学校）で新聞を教材として活用することを意味します。日本でも多くの小・中・高等学校で実践されているほか、近年では大学・短期大学・専門学校でも広がりを見せています。

皆さんは新聞にどのような印象を持っていますか。新聞は難しいものと思っている人もいるかもしれません。若者の新聞離れが指摘されて久しいです。しかし、新聞の紙面には政治・経済だけではなく社会や文化、科学やエンターテイメントまであらゆる分野の記事が載っています。とても読みごたえのある楽しいものです。新聞をこれまであまり読んだことのない人は、新聞の形式に慣れることが第一歩です。新聞がどのような構成になっているかをつかみ、実際の新聞記事を使って学びましょう。

本書は、読者の皆さんに、読む力とともに書く力をつけていただきたいという願いから企画しました。一般の介護の基本の教科書とはややタイプが異なります。新聞を活用したワークブック、その中でも介護の基本のワークブック教材は他に類を見ません。私たちはこれまで『NIE 社会福祉記事ワークブック』『NIE 児童家庭福祉演習』『NIE 家庭支援論演習』を作りました。このワークブックはその第 4 弾です。新聞記事を読み、言葉を調べ、感想を書き、解説で学びを深めるという一連の流れをとっています。介護に関連する言葉や制度を調べたり記事を読んでの感想を書くなど、自分自身で課題に取り組みましょう。

介護福祉士などの国家資格を取得するときは、実習日誌の記入等多くの場面で文を記入します。無事に資格を取得して仕事に就いた後もケース記録や業務日誌等で文章を書くことがたくさんあります。実習や仕事のほかにも、文章を読み解き、まとめ、自分の力で発信する力は社会のいろいろな場面において必要とされます。

介護福祉分野は変化が起きています。「介護保険法」や「障害者総合支援法」の改正も続いています。ワークブックで学び終えた後もいつも新聞記事に関心を持ち、新しい介護福祉の知識を得るべく、勉強を続けてもらうことを願っています。

各章はそれぞれの分野の専門の先生が、わかりやすく丁寧に展開しています。難しい言葉も段々と理解できるでしょう。みなさん、あせらず確実に取り組んでいきましょう。

大学教育出版の佐藤社長、編集の社さんにいろいろとお世話になりました。この紙面を借りて感謝申し上げます。

2019（平成 31）年 4 月

松井圭三・小倉毅・今井慶宗

このワークブックの利用方法（使い方）

このワークブックは概ね①新聞記事、②言葉を調べてみましょう、③記事を読んでの感想を書いてみましょう、④解説という構成になっています。

皆さんが教室で先生から指導を受けながら学ばれることもあるでしょう。自学自習される方もあるかもしれません。使い方はもちろん自由です。

ここでは、次のような利用方法で学習されると取り組みやすいのではないかと私たち編著者が考えたものをお示しします。ぜひ参考にしてみて下さい。

1　新聞記事をよく読みましょう。難しい言葉・知らない単語はそこに線を引っ張っておくとよいでしょう。新聞記事の読み方にも慣れましょう。

2　設問に沿って、言葉を調べてみましょう。調べる言葉はいくつかあります。教科書や辞典・インターネットで調べましょう。言葉同士の関連性にも注意しましょう。

3　記事を読んでの感想を書きましょう。記事を読んでの素直な気持ち、自分ならばどう取り組むか、考えたことなどを自由に書きましょう。

4　解説では、新聞記事の内容や関連することについてそれぞれの分野の専門の先生が分かりやすく説明しています。よく読んで理解しましょう。自分で調べてよく分からなかった言葉は、ここで学んで書き足しましょう。

どの章から始めても構いません。知っている分野があれば取り組みやすいでしょう。自分が気になる記事があればぜひそこから読んでみて下さい。手も動かしてしっかり書き込みましょう。

なお、記事によっては、記事内の個人名等を匿名表記としています。

目　次

はしがき…… i

このワークブックの利用方法（使い方）…… ii

第 1 章　介護と NIE …… 1

第 2 章　介護と生活……11

第 3 章　介護の概念……20

第 4 章　介護福祉士の役割と機能……28

第 5 章　尊厳を支える介護……37

第 6 章　自立に向けた介護……47

第 7 章　介護を必要とする人の理解……57

第 8 章　介護サービス……67

第 9 章　介護実践における連携……77

第 10 章　介護従事者の倫理 ……85

第 11 章　介護における安全の確保とリスクマネジメント ……96

第 12 章　介護従事者の安全 …… 106

第 13 章　諸外国における介護福祉 …… 117

第 14 章　介護人材 …… 127

第 15 章　介護の課題 …… 137

執筆者紹介…… 145